



地域をステージに 思いついたら行動しよう

伊興エリアに暮らし始めて65年。若い頃は役者として某大物演出家と劇団を興したことも。その後は芸能プロダクション社長として、現在も活躍する名優や数年前に亡くなったカメレオン俳優などのマネージャーを務めた。日本を代表する映画監督や演出家、脚本家たちと仕事を共にしたこともある。事務所を閉め、時間ができたことを機に町会の役員に。自らの経験やネットワークを地域に還元したいと思いはじめた。

会長就任は令和2年。コロナ禍の中でもできることを考え、自治会員の皆さんへマスクを配布したり、第十四中学校美術部の皆さんに防災倉庫を彩ってもらったり(当紙第2号参照)、伊興三丁目アパート自治会と共同で映像や写真で伝える講座(当紙第4号参照)を開催するなど、多彩な企画を手がけてきた。

「うけたもう」の精神で 地域での役目を全うする

生まれも育ちも伊興寺町。祖父の代から95年続く石材店の三代目である。20歳で石材店を継ぎ、35歳で町会の役員になり、子どもが通う幼稚園から小学校までPTA会長や役員を歴任。その後は、子どもたちの地域活動を支援する青少年委員、地域の子ども会を束ねる第十四地区少年団体協議会会長を経て、8年前から狭間町会長と青少年対策伊興地区委員会会長(伊興地区対が略称。子どもたちの健全な成長を自守する団体等が集まった組織)を務めている。今年4月には50年尽力してきた西新井消防団の団長に就任した。

常に地域での「お役目」を全うし、仕事や家庭も大切にしている元井会長。信条は「うけたもう」である。これは、元井会長が40年前に入峰した山伏の精神。良いこともそうではないことも全て「受け賜わる」こと。「ノー」は一切無い。



豊田会長の今のステージは地域。思いついたら即行動する。ビジネスではない面白さがある。例えば、防犯講座を開催した際も、興味を持ってもらえるようにシャンソン歌手のミニコンサートを同時開催。それは、様々な芸術や文化に影響を受けて来たことが自分の糧になっているから。「地域の皆さんにもエンターテインメントの良さを知ってほしい。より多くの皆さんが集まると横のつながりもできる。それがいざという時に助け合える関係につながるって素晴らしいよ」。

「全て自分だけでやろうとはしていません。頼れたり、状況を分かってくれる周りの人たちに恵まれているから」と話す。今年9月にはコロナ禍で中断していた町会のお神輿の巡行がある。亡き母親が副会長の頃、町会内の職人が集まって作り、元井会長も手伝った思い出のあるお神輿だ。こうした地域の歴史を大切に次の世代に伝えていくのも「お役目」の一つだと考える。「町会に入らないと分からないことがある。経験も情報量も変わるよ。いつでもお話ししましょう」。

会長に訊け!



昭和29年生まれ、69歳。地域では有名な「雨男」。実行委員長の町自連運動会や地区対の行事での降雨の確率が高く、団長就任後初の消防団の行事も雨に。雨乞いもする山伏の影響があるのか。例年10月、実相院(伊興4丁目)で行われる、幼児による「泣き相撲」では山伏として20年以上行司を務めている。

伊興町自連 会計、狭間町会長
元井 一壽 Motoi Kazuhisa

伊興町自連 監査、伊興町自治会長
豊田 紀雄 Toyoda Norio

昭和15年生まれ、83歳。絵を描くのが好きで、個展を開いたことも。サンキューレターはいつもウイットに富んだ絵手紙だ。役者としても健在。当ページ左の元井会長の消防団長就任祝賀会のサプライズ動画では、手製の謎のお面をつけて、アングラ芝居さながらの歌と踊りを披露し、皆を驚嘆させた。

町会・自治会に加入する 3ステップ

※ 自分のエリアの町会・自治会員をご存知の方は直接お申込みください。
(都営・区営住宅は入居時にご案内します)

1 加入方法がわからない方は
下記の方法でお申込み

● ネットで 足立区公式サイトへ



上記QRコードを
読みとってください

ページ内の
足立区オンライン
申請システム
に入力

● 郵送・ファクスで 住所、氏名、電話番号を明記し送付

郵送 〒120-8510 足立区中央本町1-17-1
地域調整課地域調整係宛て
ファクス 03-3880-5603
問合せ 足立区地域調整課 TEL 03-3880-5864

2 該当の町会・自治会から
連絡が来ます

3 加入!



ようこそ!
地域の団結で
安心を!

